

ART PROJECT KOBE 2019

TRANS-

参加者
募集

「日輪の翼」公演を
深く知ろう!

無料

アート・プロジェクト KOBE 2019 : TRANS- 50日前イベント

踊り念仏 座談会

TRANS- 開催まであと50日を記念して、28日(日)にイベントを開催します。中上健次の原案によるやなぎみわ巡礼劇「日輪の翼」神戸公演では、恵比寿神の漂流と一遍上人の遊行の要素を取り入れ、半海半陸の公演地で上演されます。そこで今回、同公演を深く知っていただく場として「踊り念仏 座談会」を行います。

日時

7月28日(日) 14:00~15:30
(受付13:30~)



会場

時宗 満福寺(定員40名)(神戸市兵庫区東柳原町1丁目13)

登壇者

やなぎみわ(TRANS- 出品作家)

小田 義宗(時宗 普照院 住職)

高田 誠司(よみがえる兵庫津連絡協議会会長、兵庫津日本遺産の会実行委員長)

申込

①WEB申し込みフォーム

<http://urx.space/WYJP>



②メール event@trans-kobe.jp

③電話 078-515-6034 (平日8時45分~17時30分)

※お席に余裕がある場合に限り、当日の飛び入り参加を受け付けます。

会場(時宗 満福寺)までのアクセス



JR兵庫駅の南口を出て国道2号線まで直進。地下道で南側に渡り、2号線沿いを東に進む。右手のパチンコ店を越えた次の角を右に曲がってすぐ。



真光寺蔵『遊行縁起』

電車でお越しの場合

JR神戸線/和田岬線「兵庫」駅より徒歩約7分

バスでお越しの場合

神戸市営バス85系統「兵庫大仏前」停留所よりすぐ

※駐車場はございません

踊り念仏 座談会

7月28日(日) 14:00~15:30
(受付13:30~)

現代美術作家という立ち位置から演劇作品に挑んできたやなぎみわ、時宗普照院住職の小田義宗、兵庫港地区の振興に尽力してきたよみがえる兵庫津連絡協議会会長の高田誠司。この3名が集い、それぞれの視点から「日輪の翼」神戸公演について語ります。「日輪の翼」とは?巡礼劇とは?今回の公演における踊り念仏の重要性にはじまり、写真家から演出家と幅広く活動し、鋭い洞察力で作品を生み出し続けるやなぎ自身の制作活動にもせまります。

登壇者プロフィール

やなぎみわ

1967年、神戸市兵庫区生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。〈エレベーターガール〉や〈マイ・グランドマザーズ〉など、CGや特殊メイクを駆使した写真で、若さと老いといった女性を取り巻く諸問題への洞察を試みる。2009年、ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館の代表作家。2011年からは演劇に取り組み、『ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ』を国内外で上演。2017年の「港都KOBE芸術祭」では野外劇『日輪の翼』のための移動舞台トレーラーを展示した。京都在住。



普照院 住職 小田 義宗

昭和45年明石市生まれ。幼少期を神戸市北区で、一時期は兵庫県高砂市で育つ。県立夢野台高校卒業、最終学歴は四天王寺国際仏教大学文学部仏教学科卒業。北海道(倶知安町)・オーストラリア(ゴールドコースト)に数年間住んだり、某全国バイクチェーン店に就職。岐阜県大垣市・長野県飯田市にて勤務。「たくさんの人々にお会いし、本当に貴重な経験を積ませていただきました」



よみがえる兵庫津連絡協議会 会長 兵庫津日本遺産の会 実行委員長 高田 誠司

奈良時代からの兵庫津の歴史的遺産を生かした活力溢れる街を目指した活動を地元事業者と、神社・寺院が一体となって進めている活動組織「よみがえる兵庫津連絡協議会」会長であり、現在創業79年の「12代目 兵庫津樽屋五兵衛」という海産物問屋を生業とする。
<https://www.kobe-tarugo.com/about>



アート・プロジェクト KOBE 2019 : TRANS-

「TRANS-(トランス)」には越えていく、向こう側へなどの意味があります。

現代アートを切り口に何かを“飛び越え、あちら側に向かう”ための試み「アート・プロジェクト KOBE 2019 : TRANS-」が9月14日(土)~11月10日(日)に新開地、兵庫港、新長田で開催されます。参加作家は2名に絞り、美術作品や野外劇など様々な仕掛けが出現する新しいプロジェクトをおたのしみに。



【TRANS- についてのお問い合わせ】
TRANS-KOBE 実行委員会事務局
TEL : 078-515-6034 (平日 8:45 ~ 17:30)
Mail : info@trans-kobe.jp
HP : <http://trans-kobe.jp>



詳細はWEBで